

令和7年12月
第171号

ひまわり通信

株式会社ヨコレイ ひまわり発電所

皆様こんにちは、ヨコレイひまわり発電所です。今年も残りあと僅か。
体調管理に気を付けて、穏やかに新年を迎えたいですね。
それでは今月も、ひまわり通信にお付き合いください。

釧路湿原だけじゃない…再生可能エネルギー発電施設が生態系に与える深刻な影響

国の天然記念物であるオジロワシやタンチョウ、シマフクロウの生息地としても知られる北海道・釧路湿原でのメガソーラー建設問題を筆頭に、各地で人と自然の共生の在り方が問われています。

世界に目を転じると、太陽光発電施設だけでなく風力発電など再生可能エネルギー発電施設による自然生態系への悪影響も問題視されています。国際自然保護連合（IUCN、本部・スイス）では『ジンジャー』というプロジェクトが、再生可能エネルギーによる自然環境への悪影響を観測・測定し、各国政府、再生可能エネルギー産業、財政・金融部門の人々をサポートしています。ジンジャーが2025年11月に公表した「白書」は、気候危機（地球温暖化）と生物多様性の損失は互いに関連した喫緊の課題である、としたうえで、エネルギーに関して、二酸化炭素の排出が多い石炭、石油、天然ガスなど化石燃料による発電、廃棄物の問題が解決していない原子力による発電について、どちらにも否定的であり、再生可能エネルギーによる発電しかない、としています。一方で、風力と太陽光による発電は、適切に計画・運用されなければ、生物多様性に著しい影響を与えてしまう、とも断言しています。

多くの再エネ発電施設が建てられ、また生物多様性が豊富なことで知られる米カリフォルニア州で研究者が行った調査では、夜に渡りを行う鳥類の太陽光発電施設での死亡が目立つことに着目しました。太陽光パネルが月などの光を反射して湖のような大きな水域があるように錯覚してしまう「湖効果」により、カイツブリやアビ類などの水鳥が誘引された可能性があると示しました。こうした調査研究の結果を受け、白書は、大規模な再エネ発電施設は、都市や工業地帯での工場、倉庫、配送センター、販売所などの屋根の上を中心に広げていくべきであるとし、国や地方政府が立地場所を選び、計画を進める必要性を強調しました。

また、10月25～26日に鹿児島県奄美大島で開かれた「国際サシバサミット」では、環境省レッドリスト（06年改訂版）で絶滅危惧Ⅱ類に上げられている中型の猛禽類で、渡り鳥のサシバの生息環境を守るため、日本のほかフィリピン、台湾、韓国などからの参加者が活動状況や調査報告を発表しました。毎年、3月中旬～4月中旬に南方から3万8000羽ものサシバが到来するフィリピンの「渡り中継地」に、洋上風力発電や沿岸の風車群の建設が計画されており、バードストライクをはじめ、渡りのルートや生息地に脅威を及ぼす可能性を危惧しています。どうしたら自然生態系への悪影響を抑えつつ、再生可能エネルギーの利用を拡大していけるかという課題は、学術的研究や調査の枠を超えた住民、自治体や政府の行政担当者、政治家、ボランティアなど多様な人々の参加と国際協力が必要不可欠です。



カイツブリ



サシバ

新規メガソーラー、電力買い取り価格上乗せ廃止へ

政府・自民党は大規模太陽光発電施設「メガソーラー」について、2027年度から新規事業に対する支援を廃止する方針を固めました。出力1,000 kW以上のメガソーラーのほか、出力10 kW以上の地上設置型の事業用太陽光発電設備を、市場価格に一定額を上乗せして電力を買い取る支援制度の申請対象外とするものです。山林などを切り開き、時に数万枚超のパネルを使用することもあるメガソーラーは、生態系破壊や森林伐採に伴う災害リスクの増大・景観悪化などが指摘され、地元住民と事業者間でのトラブルも相次いでいます。メガソーラーは太陽光パネルの大量生産技術などで発電コストが大きく低下しており、自民党内には「支援は役目を終えた」との声があるようです。なお、自然環境への影響が少ない屋根設置型の事業用設備や、家庭用設備に対する支援は継続します。

メガソーラーを巡る課題

自然環境
北海道釧路湿原周辺
国立公園周辺で建設が相次ぎ、希少鳥類の生態系に影響する可能性

安全面
千葉県鴨川市
東京ドーム30個に相当する山林開発で、台風や大雨時などの土砂災害リスク増大の指摘

景観
熊本県阿蘇山
阿蘇地域一帯で開発が相次ぎ、景観が悪化との声

令和7年度 優良工事施工会社表彰

当社が令和6年に施工した「長浜ホール 吸収冷温水機等更新工事」で、横浜市建築保全公社様から「優良工事施工者表彰」・「優良現場代理人表彰」を賜りました。



野島ビーチクリーン活動に参加しました！

11月16日（日）、横浜市に唯一残存する自然海岸の砂浜である「野島海岸」のビーチクリーン活動に、社員と家族計24名で参加しました。自然の砂浜は生物多様性を維持する上で非常に重要な役割を担っており、埋め立てや開発によってその存続が危ぶまれています。稀少な財産である自然海岸が、これからも多くの生物を育む土壌であり続けるためにも、今後も野島海岸の清掃活動に取り組んでまいります。



☀️ヨコレイ太陽光発電 先月の実績☀️

(期間：11/2～12/1) ※（ ）内は先々月の実績

- 発電した電気量 : 480.0 kWh ↑
(429.8 kWh)
- 東電への売電量 : 143.0 kWh ↑
(128.0 kWh)
- 売電金額 : 1,215 円 ↑
(1,088 円)

■この期間の横浜市の天気概況 <気象庁HPより>

※（ ）内は前月の数値

日照時間：204.4 時間 (173.8 時間) ↑
平均最高気温：14.6℃ (19.3℃) ↓

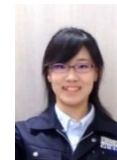
私たちが『ひまわり通信』を担当しています



アゲナ



カサノ



イノウエ



クロダ

(株)ヨコレイ 法人向け太陽光発電

ひまわり発電所

<https://yokoray.co.jp/himawari>

0120-37-4501

(受付時間 9:00～18:00 土日祝日を除く)

※本紙の配信停止をご希望の方は、ご連絡ください※